



日本共産党 北区議会議員

のの山けん 区政レポート

http://ken-nonoyama.com/ mail@ken-nonoyama.com

No.651 2022.8.24

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

教員が足りない!

#教員不足どうすれば 緊急アンケート

Q 4月28日の全国教育長会議で、末松信介文部科学大臣は、①特別免許状の積極的活用、②教員養成系大学に卒業生・同窓生への教員採用の情報提供を依頼、③離職した先生や免許状保持者の任用、④教員採用試験の早期化・複線化を教員不足の対策として提案しました。この4つの提案で教員不足は解決すると思いますか？

基本的に解決しない **98.5%**
基本的に解決する **1.5%**

Q 教員不足を解決するためにあなたがのぞむ政策は？

- 教員定数増 **84.1%**
- 子どもと直接向き合うこと以外の
不要不急の業務の削減 **78.6%**
- 教員の給与や休暇などの処遇改善 **71.5%**
- 教員への残業代支給 **70.7%**

(回答数の多かったものトップ4)

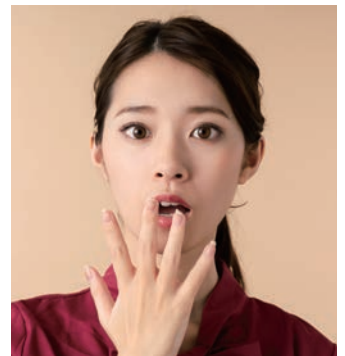
日本共産党の宮本岳衆院議員と吉良よし子参院議員の事務所が6月に行った緊急アンケートに、1週間で818人から切実な「教師の声」が寄せられ、深刻な教員不足の実態が浮き彫りになりました。(のの山けん)

アンケートには、全国から現場の厳しい実態が生々しく報告されました(下記囲み参照)。
宮本・吉良両議員は6月15日、文科省に結果を報告し、必要な予算を投じ教職員定数を抜本的に増やす、不要不急の業務をいったん中止・削除するなど真に現場が望む解決策に踏み出すよう求めました。文科省の担当者は、「アンケート結果は

※調査結果詳細は、吉良よし子参院議員のホームページから↓



貴重な資料だ。現場の声を聞きしっかり対応していきたい」と応じました。



アンケートに寄せられた声 (抜粋)



今抜本的改善をしないと全国の学校が崩壊します。あとから騒いでも間に合いません。これ以上、子どもたちを泣かせないでください。ぜひ頑張ってください！現場の声を突きつけてください！(小・30代)



今の学校で必死に働いている人への対応がないからどんどん離職するのでは。わたしも続けたいですが核家族で、息子を育てながら激務をこなせません。自分の子を犠牲にする働き方はできません。(中・30代)



ブラック企業と言われても仕方がないほど残業、持ち帰り仕事が多い。病休、退職によりさらに教員不足。産休代替も見つからず何ヵ月も欠員のまま。過酷な職場環境の改善が欠員の解消に不可欠。(特・50代)

第27回

平和のための北区の戦争展



第27回を迎えた「平和のための北区の戦争展」が20日と21日、北とぴあ・地下展示場で開かれました。

今回は、鉄の造形作家・武田美通さんによる作品集「戦死者たちからのメッセージ」から、「自決する兵士」(写真左)など迫力の作品数点を展示。訪れる人の目を釘付けにしていました。

岸田政権がねらう大軍拡、憲法改悪による戦争への道をストップさせるため、力を合わせて頑張ります。(のの山けん)



赤羽納涼フェスタ 規模縮小し赤羽小校庭で開催

20日と21日の両日、赤羽小校庭で赤羽納涼フェスタが開催されました。新型コロナの影響で規模を縮小し、例年のような大規模な飲食店の出店はありませんでしたが、大勢の参加者で盛り上がりました。(のの山けん)

